

# 平成28年度事業報告

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

## 1. 概況

平成28年度は、半田法人会（以下「当会」という。）が、一般社団法人として4年目を迎え、公益社団化に向けた具体的な取組みを開始した年でありました。

本年度は、税啓蒙事業及び社会貢献事業として本会、各分会及び各支部において税に係る各種研修会を実施し、知多半島5市5町の児童及びその父兄が参加する「祭・de・TAX」、「チャリティーコンサート」などの事業を開催し、租税教室も昨年と同様に実施しました。

組織基盤については、退会の歯止めが効かない中であって新規会員の入会勧奨に役員はもとより当会の総力を挙げて取り組んだ結果、大きな減少を防ぐことができました。

収入面では、会員数の微減による会費収入も減少しておりますが、簡易保険の満期・中途解約による事務手数料収入が大きく減少し、当会の財務運営面は依然として予断を許さない状況にあります。

## 2. 事業報告について

### (1) 税知識の普及を目的とする事業

税法及び税務を中心とした研修会、講演会、セミナーを各委員会、各分会、各支部が主催し開催しました。講師には半田税務署長様並びに担当官様をはじめ、管内税理士様等をお迎えし、企業ニーズに合わせたテーマとして税制改正、税知識の普及、相続税・贈与税等を取り上げました。

### (2) 納税意識の高揚を目的とする事業

我が国の将来を担う子供達に対しては、本年度も青年部会及び女性部会が中心となって半田税務署管内の児童を対象とした税についての理解と関心を高めてもらう租税教室を開催しました。

本年度は青年部会、女性部会から延べ42名の講師を派遣し、18校、24コマ、1,578名（昨年は27校 約2,100名）の児童が受講しました。

「税を考える週間（11/11～11/17）」では、当会のメイン事業でもある「祭・de・TAX '16」を開催するとともに税務当局、知多半島5市5町の全教育委員会、全小中学校の後援をいただき、小学生のぬりえコンテストでは4,223点、中学生の短歌は1,893点の応募がありました。

特に優秀作品については、表彰式を開催し開催期間中会場において展示しました。その後も各市町の庁舎において1週間程度展示して税の啓蒙を図りました。

なお、表彰式は、昨年と同様知多納税貯蓄組合連合会様との共催、半田税務連絡協議会様の後援も頂いて開催しました。

### **(3) 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業**

税制・研修委員会が主体となり、当会会員を中心にアンケート調査を行い、税制及び税務に関する提言を取りまとめ、愛知県法人会連合会を通じて全国法人会総連合に上申しました。

本年度の税制改正提言書は、国会議員並びに5市5町の首長をはじめ税務課長様へ直接お渡しすることが出来ました。

### **(4) 地域企業の健全な発展に資する事業**

企業視察をはじめとし、幅広いテーマでの講演会、セミナーを開催し、企業経営者としての更なる資質の向上に繋がる企画を進めてきました。厚生委員会では経営者向けに医療セミナー、調査部会では、地域へ新たな進出を果たした企業様や独自の技術を持った企業様の訪問を企画し、参加者の知見等を広めることができました。

### **(5) 地域社会への貢献を目的とする事業**

地域社会への貢献という趣旨から健康、文化及び芸術等に関する講演会や研修会を当会会員のほか地域企業や一般市民にも門戸を開き開催しました。

また使用済み切手・書き損じハガキの寄付事業も女性部会ほか会員各位のご努力により業績の拡大継続ができました。

女性部会では「第2回チャリティーコンサート」で税金クイズや子供達の合唱会などを開催し、一般観客も含め約380名の参加が得られ、当会のチャリティー事業をPRしました。

事業委員会では、本年度も地域の文化施設を巡り、その歴史と存在意義を学ぶ「ご当地巡りツアー」を実施しました。

平成29年3月31日までの活動累計結果（昨年差）

使用済み切手	661.8kg (+34.0kg)
書き損じハガキ切手交換分	778,089円 (+8,505円)
チャリティコンサート	現金 33,505円 ペットボトルキャップ 44.0kg 使用済み切手 2.0kg

(6) 広報事業

広報紙「歩一歩」を年3回発行し、税知識の普及や地域社会貢献活動の広報・報告、会員情報など情報発信を行いました。これまでと同様に会員・関係団体並びに関係各位へ配布しました。

発行号数：第269号・270号・271号

発行部数：各4,800部

発行月：5月・9月・1月

(7) 会員の福利厚生事業

協力保険会社様3社合同による福利厚生制度に関する連絡協議会（厚生委員会及び各支部ほか）を開催し、制度の周知と推進の施策について検討・実施しました。

また、各支部役員会においても協力保険会社様の出席を頂き、制度推進の説明を行いました。

①各種保険推進状況

a.法人会福利厚生制度の加入状況（昨年差）

協力保険会社名	保険の名称	加入会員数 単位：社
大同生命保険株式会社	法人会大型総合保障制度	694 (+3)
AIU 損害保険株式会社	ビジネスガード	316 (-15)
アメリカンファミリー生命保険会社	がん保険制度	484 (+10)

b.独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構(簡保)状況

28年度保険手数料収入(事業収入)決算額内訳

取扱郵便局	保険手数料収入(円)	加入数(件)
半田郵便局	930,602	118
〃(旧武豊郵便局)	194,240	27
合計	1,124,842	145
昨年差	▲422,563	▲71

※大府、東海、知多、常滑、東浦の各郵便局は、半田局へ移動

(8) 会員の交流を目的とした事業

企業視察会では多くの参加を頂き、和やかな雰囲気の中で会員交流を進めました。

また、第22回会員親睦ゴルフ大会は各支部において予選会を開催し、約300名の参加がありました。9月5日には193名による本戦が行われ、延べ493名の参加となり、会員企業の異業種交流と健康増進関連事業の一助となりました。

(9) 組織の維持強化に資する事業

組織活動の基盤となる会員増強活動については、平成28年度も本月間を10月から12月に設定し、直前の7月から9月を準備月間とし、月間ごとののぼりを作成して、各委員会、支部役員会の際に会場に掲げ会員の意識向上に努めました。未加入法人への勧奨訪問時のグッズを整備し、法人会をより身近に感じて頂けるような勧誘方式としました。

会員数の状況 ( )は内数

	平成28年4月1日	平成29年3月31日	差異
管内法人数：社	8,127	8,299	172
全会員数：社	4,613	4,582	▲31
加入率：%	56.8	55.2	▲1.6
(正会員数：社)	(4,123)	(4,075)	(▲48)

支部別会員数 (単位：社、%)

	H28.4.1	入会数	退会数	会費未納 退会 (内数)	増減数	H29.3.31	
	会員数					会員数	加入率
半田1	425	20	15	2	5	430	50.7
半田2	421	11	22	4	▲11	410	70.0
半田3	236	13	6	0	7	243	63.4
半田4	134	3	3	0	0	134	84.3
阿久比	192	9	12	1	▲3	189	71.3
東 浦	315	7	4	1	3	318	73.3
大 府	613	5	17	4	▲12	601	46.1
東 海	797	20	17	3	3	800	49.7
知 多	370	8	15	3	▲7	363	44.2
常 滑	498	11	23	3	▲12	486	61.4
武 豊	227	7	7	1	0	227	52.8
美 浜	193	4	7	2	▲3	190	70.4
南知多	192	4	5	0	▲1	191	48.2
合 計	4,613	122	153	24	▲31	4,582	55.2

### 3. 平成28年度の特別事業

#### (1) 公益社団法人化に向けた取組み

平成25年に一般社団法人として新たにスタートした当会は、4年目を迎える今年、社会的にもより公益性の高い公益社団法人として生まれ変わるべく認可取得に向けた具体的な取組みを開始しました。

内容としては、事務局員の業務割合の精緻な分析・検証によって共通費の按分係数の見直し、一部事業の縮小、新たな税知識の啓蒙事業の開催、多くの会員が参加できる法人会活動に積極的な企業等の視察を中心とした研修旅行、研修会の開催などにより従来にも増して当会が地域に認められる、公益性の高い団体となるための事業を推進しました。

#### (2) 高校生フォーラム～税を考えよう～開催

平成28年7月28日に税制・研修委員会が主体となり、地域の高校生に向けた税意識向上のための事業を開催しました。これは、法人会として初めて高校生向けの事業であり、企画段階から開催まで多くの時間を費やすことになりましたが、参加者並びに教諭の評価も高く、継続事業とすることとしました。

#### (3) 3年10億円増収計画

13名の支援メンバーを選任し、厚生委員と協働で将来の財政基盤の健全化のため、3協力保険会社様の契約事務手数料増額の取組みを推進しました。これにより全法連からの助成金が増額し、事業活動資金に余裕が生まれることとなります。最終年度となる本年度の紹介件数は68件で目標件数の59件を上回る結果となりました。